

実践発表

勝央町立勝央北小学校 の取組  
地域連携担当 宗平 全雄 先生

☆活動内容

春・秋の花いっぱい運動 昔遊び 本物にふれる体験(琴等)  
おかやま子ども応援人材バンク活用(着衣水泳指導)等々

☆地域連携担当として

学校ニーズの把握と年間計画作成・地域コーディネーターとの  
連絡調整・情報発信・感謝集会の計画実施

☆勝央町の特徴的な取組

- ・年間9回学校支援地域本部コーディネーター連絡会実施する。  
(町内3小中学校すべてで学校支援地域本部事業実施)
- ・担当が代わっても引き継がれていくよう、サブコーディネーターを配置している。
- ・ボランティアさんが地域で輪を広げてくださり、多くの方に  
関わっていただける。

☆今年度の取組重点

地域に元気にしてもらった学校が、地域を元気にする。  
ボランティアさんとの交流をさらに深める。



実践発表の様子



情報交換の様子

情報交換

◎特徴ある取組は・・・

- ・1年生のはげみ学習(丸入れは1年生のおじいちゃんおばあちゃんがボランティア)
- ・地域の文化伝承 ・寺子屋(放課後学習支援) ・おなべであつたまろう

◎課題と今後に向けて・・・

- ・学習支援者の確保 ・個人情報保護の徹底 ・学校ニーズとボランティアニーズのマッチング
- ・情報発信の充実(学校の紹介やボランティアの取組を発信) ・放課後の子どもたちの支援

講話

広島経済大学 経済学部 教授 志々田 まなみ 氏

「つながりでひろげる学校支援」

(目標) 学校・家庭・地域の連携協力の推進にどのように関わって  
いくことが望ましいのか、それぞれの役割のなかで考える。

- ・「地域の特色ある教育力の創出」には、学校・家庭・地域の連携  
協力が必要である。
- ・ミッション1  
学校に信頼されるパートナーになろう!
- ・ミッション2  
地域を誇れる子どもを育てよう!
- ・ミッション3  
新しい教育を考えるチームになろう!

☆学校の充実・改善  
のためには、地域の  
充実・改善が必要で  
あるという問題意識  
を共有しあうチーム



講話の様子

- ・地域がよくならなければ、学校はよくなる。
- ・定期的に協議する場、ボランティアの皆さんの声を集める仕組み(振り返りシート・通信)を整えよう。
- ・教員と地域住民保護者が協働して企画・運営する活動を立ち上げてみよう。